

経営体の概要

- ・所在地：北海道北斗市稲里
- ・経営体名：O H（家族経営）
- ・栽培作物・作付面積：水稻 42ha、軟白ねぎ 75a
牧草 30ha、黒毛繁殖60頭
育成40頭
- ・従業員数：2名（令和6年5月現在）

導入技術

・直進キープ機能付田植機（株式会社クボタ製）

→直進時に自動操舵をアシストする「直進キープ機能」は、1工程目に基準線（始点・終点）を登録すると、次工程からはG Sスイッチ（直線キープスイッチ）を押すだけで、基準線に平行した自動走行ができる。田植機まかせで、誰でもまっすぐな植付けができる。

導入経緯

- 水稻移植とねぎ収穫の作業競合が課題であった。
- そこで水稻における移植作業の軽減を目的に、平成30年に経営体育成支援事業を活用して直線キープ機能付田植機を導入するとともに、苗箱数が従来栽培の1/2となる高密度播種移植栽培に取り組む。

取組の特徴・効果

- 高密度播種移植栽培により苗箱数が少なくなったため、苗補給作業の回数も半減した。
- 直進キープ機能付田植機と高密度播種移植作業の組み合わせにより、水稻移植作業に係る労働が以下のとおり改善した。
 - ・ 移植作業に係る人員（苗運び等も含む）
7人→5人
- 余剰労働力は軟白ねぎの管理・収穫に振り分けることで、従業員の負担軽減に役立っている。



直進キープ機能付田植機での移植作業